

(3) 呼吸器内科

2012年度は岡林先生が東京警察病院呼吸器内科へ、水堂先生が神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科へ移られたため、西尾、塩見、会田の常勤医3名で診療を行いました。そのため、外来診療については毎日呼吸器内科外来が開けるよう組みなおすとともに慶應義塾大学医学部呼吸器内科より荒井先生、石田先生に非常勤医として勤務して頂きました。

2012年度の一般呼吸器内科の疾患別入院患者数は肺がん126名、肺炎57名、慢性呼吸不全21名、間質性肺炎16名の順となり、常勤医の減少により昨年度に比較し当科で診させて頂く肺炎症例が大幅に減少しました。一方、肺がんについては微増となりました。結核関連疾患として肺真菌症、非結核性抗酸菌症の診療にも当院呼吸器内科の特徴として引き続き力を入れていきます。外来では専門外来として在宅酸素外来を継続するとともに、禁煙外来を木曜午後に行っています。肺がんに対する外来化学療法にも積極的に取り組んでおります。気管支鏡検査は呼吸器外科と共同で水曜・金曜午後に行っており2012年度は113件でした。また呼吸器外科との合同カンファレンスも水曜夕方から定期的に継続して開催しています。

結核病棟入院患者数は104名で、新病院に移るにあたり実稼働病床数が減少したこともあり2011年度と比較してやや減少となりました。満床のために新規入院の受け入れに支障を来すケースもでていきます。このため可能な範囲での入院期間の短縮に努めています。結核病棟では、引き続き多くの内科・緩和ケア内科の先生方に担当医として診療にあたって頂きました。この場をかりて御礼申し上げます。

(文責 呼吸器内科部長 西尾 和三)

(4) 循環器内科

循環器科は循環器科部長 好本、循環器科医長 原田、循環器科担当部長 山岸、教育担当部長 麻薙、心臓血管外科医 鈴木が循環器科診療を担当しております。外来は毎日循環器科専門外来を開き、また他に月2回ペースメーカー外来・不整脈外来を開き、循環器疾患を有する患者の診察を行っております。

循環器科が担当する非侵襲的検査は12誘導心電図・ホルター心電図・トレッドミル運動負荷心電図・心エコー・心筋シンチであります。2012年度の12誘導心電図の件数は11378件で、循環器科で全て診断し必要があればコメントを加え他科の診療の一助になっております。心エコーは検査技師の協力のもと、2012年度は1898件に施行しました。

循環器科が担当する侵襲的検査・治療は心臓カテーテル検査、経皮的冠動脈形成術(PCI)、ペースメーカー植え込み術であります。2012年度は心臓カテーテル検査を120症例に、PCIを39症例に、恒久式ペースメーカー植え込み術を13症例に、ペースメーカージェネレーター交換を2症例に、体外式ペースメーカー植え込みを7症例に施行しました。

循環器科が取り扱っている主な疾患は狭心症・心筋梗塞・心不全・弁膜症・心筋症・不整脈・肺塞栓症・高血圧症等であり、上記疾患に罹患し精査加療を要する患者は適宜入院していただいた上で薬物療法にて治療し、また必要があれば上記の侵襲的治療を施行しております。

(文責 循環器科部長 好本達司)